

ユーザーズマニユアル

日本語

ICSスイッチボックス

CE

はじめに

この取扱説明書は ICS座席 制御パネルの機能を解説し、また電動車いすの取扱説明書を構成する一部となっています。

電動車いすとその付属品に同梱されている全マニュアルのすべての指示と警告を読み、それに従ってください。誤った使用により使用者が怪我をしたり、車いすを損傷したりする可能性があります。これらの危険を緩和するために、ドキュメンテーションをすべて注意深くお読みください。特に安全についての指示および関連する警告表示に注意してください。

使用を始める前に、車椅子と付属品の各種ボタン、機能およびステアリング制御や、座席調節の可能性等の確認に十分な時間をとっていただくことは、極めて重要です。

情報、図、イラストおよび仕様はすべて、これらの取扱説明書が作成された時点で利用可能な製品情報に基づきます。これらの取扱説明書の中で使用される図とイラストは代表的な例であり、具体的な部品の正確な描写としては意図されていません。

当社には事前通知無しに製品に変更を行なう権限があります。

Permobilが作成および発行

バージョン: 1

日付: 2019-12-16

発注番号: 336782 jpn-JP

ペルモビールグループ本社

Permobil AB
Per Uddéns väg 20
861 36 Timrå
Sweden

Tel.: +46 60 59 59 00
Fax: +46 60 57 52 50
E-mail: info@permobil.com
URL: www.permobil.com

1	警告	9
2	ICS 座席の操作パネル	11
2.1	一般	11
2.1.1	フィードバック	12
2.2	機能	14
2.2.1	シートリフト	14
2.2.2	バックレスト角度	15
2.2.3	シートチルト	15
2.2.4	前傾チルト	15
2.2.5	レッグレスト角度	16
2.2.6	電動脚長調整	16
2.2.7	シートツーフロア機能	16
2.2.8	スタンディング機能	17
2.2.9	電動フットプレート	17
2.2.10	電動乗換	18
2.2.11	シフト	18
2.2.12	メモリー機能	18

1 警告



警告！

環境条件

雨、雪、泥、水しぶきなど、あらゆる種類の水分に車いすをさらさないようにしてください。

カバーやジョイスティックブーツにひび割れや裂け目がある場合は、ただちに交換する必要があります。これを怠ると湿気が電子装置に入る可能性があり、怪我や火災を含む所有物の損害の原因になります。

2 ICS 座席の操作パネル

2.1 一般

シートの電動機能は、ドライブシステムの操作パネルから制御できます。制御システムICSが装備されているシートでは、電動機能はICS操作パネルからも制御できます。

シートの電動機能は操作パネルから制御します。制御システムは、ユーザーが操作しやすいようにプッシュボタンまたはトグルスイッチの形態となっている場合があります。トグルスイッチを前方に動かすとフロントボタンが操作され、後方に操作するとリアボタンが操作されます。ここで説明されているボタンボックスの機能は従来の押しボタンにも当てはまりますが、機能は制御システムの設計に関係なく同一です。

各スイッチ位置には2つの機能がある場合があります、アクティブな機能の記号が点灯します。シフト機能で機能を変更します



通知

機能は異なります

利用可能な機能の数は、車いすとシートの装備方法によって異なります。



図 1. ICS座席操作パネル、最上部にプッシュボタンと下部にバドルスイッチが付いています。

2.1.1 フィードバック

操作パネルは、使用可能なシート機能、アクティブシート機能抑制、アクティブ走行速度制限、およびアクティブ走行抑制に関するフィードバックをLEDから提供します。

スイッチの上にあるLEDには、3つの状態があります。

1. オフ

機能アイコンは消えるか、オフになります。これは、機能が現在アクティブではないことを意味します。シフトスイッチで左右のシート機能の選択を切り替える

2. 点灯しているLED

点灯しているLEDは、ユーザーに走行速度に関する情報を提供します。

- 緑色のLEDが点灯している場合は、車椅子が全速で駆動できることを示しています。
- 黄色のLEDが点灯している場合は、このアクチュエータの位置によって駆動速度が制限されていることを示しています。
- 赤色のLEDが点灯している場合は、このアクチュエータの位置により駆動が停止していることを示しています。

3. 点滅しているLED

点滅しているLEDは、ユーザーにアクチュエータ関連の情報を提供します。

- 緑色のLEDが点滅している場合は、特別な機能または拡張機能を示します。
- 黄色のLEDが点滅している場合は、安全上の理由から、シート機能が一方向に使用できなくなっていることを示しています。アイコンの下のスイッチはシートを安全な方向に動かすことしかできません。
- 赤色のLEDが点滅している場合、アクチュエータエラーが検出されています。エラーの種類に応じて、以下のスイッチはシート機能を作動させる場合と作動させない場合があります。この情報がサービスプロバイダーに役立つ可能性があるため、この指示が発生した場合の状況をメモしておいてください。点検が必要になる場合があるため、追加の支援が必要な場合はサービスプロバイダーに連絡してください。

2.2 機能



警告！

座席の機能を使用する際に挟まれる危険

電動シート機能を使用すると、挟まれる事故が発生する危険があります。移動する部分の間に何も詰まっていないことを必ず確認してください。これを怠ると、怪我をする可能性があります。

2.2.1 シートリフト

座席を上げるにはボタンの上部分を押し、下げるには下部分を押します。



図 2. シートリフト

2.2.2 バックレスト角度

バックレストを戻すにはボタンの上部分を押し、後ろに傾けるには下部分を押します。

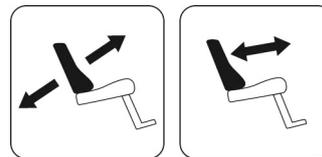


図 3. バックレストの角度。

2.2.3 シートチルト

座席を後ろに傾けるには下部分を押し、前に傾けるにはボタンの上部分を押します。



図 4. シートチルト

2.2.4 前傾チルト

座席を前に傾けるにはボタンの上部分を押し、後ろに傾けるには下部分を押します。シートを前後に傾けているとき、シートはニュートラルポジションに達すると停止します。ニュートラルポジションから前後に動かし続けるには、同じボタンをもう一度押します。



図 5. 前傾チルト

2.2.5 レッグレスト角度

レッグレストを前に傾けるにはボタンの上部分を押し、後ろに傾けるには下部分を押しします。

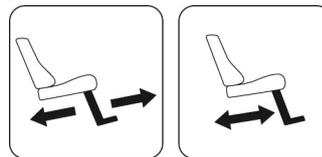


図 6. レッグレスト角度。

2.2.6 電動脚長調整

フットプレートを上げるにはボタンの上部分を押し、下げるには下部分を押しします。



図 7. 電動脚長調整。

2.2.7 シートツーフロア機能

座席を床まで下げるにはボタンの上部分を押し、上げるには下部分を押しします。



図 8. シートツーフロア機能。

2.2.8 スタンディング機能

座席は、ボタンの上部分を押すと立位まで上がり、下部分を押すと座位に下げることができます。

スタンディング機能は、3つの可能なスタンディングシーケンスのうちの一つを事前にプログラムすることによって、各ユーザーに合うように設定することができます。

左側の記号は、ユーザーを立位に上げる前に、ユーザーの腰と脚をまっすぐにすることから始まるスタンディングシーケンスを示しています。このシーケンスは、ユーザーの膝への圧力を最小限に抑えます。

右側の記号は、座位からユーザーを直接上げるスタンディングシーケンスを示しています。

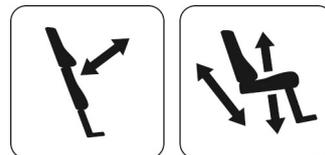


図 9. スタンディング機能

2.2.9 電動フットプレート

フットプレートを上げるにはボタンの下部分を押し、下げるにはボタンの上部分を押します。

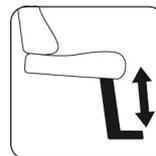


図 10. 電動フットプレート。

2.2.10 電動乗換

ボタンの上部分を押してシートリフトを上げると同時に、フットプレートを下げるができます。ボタンの下部を押すと、フットプレートが上がり、同時にシートリフトが下がります。この機能は、ユーザの車いすへの乗り降りを支援することができます。

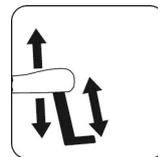


図 11. 電動乗換フットプレート。

2.2.11 シフト

シフトボタンを押して操作ボタンの機能を変更します。シフトボタンを押して機能を元に戻します。アクティブな機能の記号が点灯します。

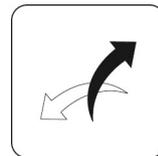


図 12. シフト。

2.2.12 メモリー機能

メモリーを装備したICS 操作パネルは、最大3つのシートポジションを保存したり呼び出したりできます。シート機能（電動チルト、電動リクライニング、電動レッグなど）は、ポジションフィードバックを備えたアクチュエータが設置されている場合にのみポジションを記憶することができます。

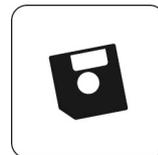


図 13. メモリー機能。

2.2.12.1 プリセットポジションに戻る

1. メモリーボタン (8) を2秒間押し続けて、メモリーモードを有効にします。メモリーモード中は、メモリーLEDが緑色に点滅します。
2. 適切なリコールボタン (1、2、または3) を押し続けて、シーティングシステムを好みのプリセットポジションに移動します。安全機能として、リコールボタンを放すとアクチュエータの動きが止まります。保存済みポジションに達するとアクチュエータの動きが停止し、メモリーポジションの上にあるLEDが緑色に点灯し、操作パネルで音が鳴ります。
3. メモリーボタン (8) を押して、標準シート機能操作モードに戻ります。



図 14. メモリー機能。

2.2.12.2 メモリーの保存

メモリーにシーティングポジションを保存する前に、シートシステムを好みのポジションに設定します。

1. メモリーボタン (8) を2秒間押し続けて、メモリーモードを有効にします。メモリーモード中は、LEDが緑色に点滅します。
2. メモリーLEDのすぐ左にあるLEDが緑色に点灯するまで、ボタン (4) を押し続けます。メモリーが有効になり、シートポジションを記憶する準備が整いました。
3. 現在のシートポジションを記憶するには、目的の保存ボタン (5、6または7) を3秒間押し続けます。メモリー位置の上にあるLEDが赤く点灯し、メモリーの保存に成功すると操作パネルで音が1回鳴ります。
4. メモリーボタン (8) を押して、標準シート機能操作モードに戻ります。



図 15. メモリー機能。

www.permobil.com

permobil

336782 jpn-JP